

壹円八十銭であると言ふかも知れない。然し其者の腕前を知らぬからである。其者は先方や佐長迄勤めて来た男だ。吾々として見ると他人は事は利己主義が個人主義である。と観察する。或る不良分子が斯かる事を利用して解職手当を貰つて他を職しやうとする者やつた事としか思はれぬ。

笹子氏

君、越田君の言ふ事と西牧君の言ふ事と同じか。

越田氏

さうです。

串畑豊氏

其れが今日ならば昇給を叫ぶ程であつたはず。

笹子氏

腹の内を叫ぶておいて他は雷司した事であるから其の要求は無いのだ。

一同

笹子氏

全部が其意見が要求する事あれば兎も角少数の者の言ふ事は駄目だ。

西牧氏

今昔の野蠻時代の事は通じない。實際を考慮して見給へ。

笹子氏

只此工場を良くすると言ふ考へを以て戴きたい。さうすれば其問題は簡単で且つ起

らぬ。

串畑豊氏

昇給した頭を改造して行くより任方がよい。

笹子氏

昔英國の職工の待遇を好くしてやすれば爭議の根を絶ち能率を騰め得るものと考えら

れた時代があつた。然し全く失敗があつた。頭の改造が肝要であつた。債銀を良くして始めて

一、二ヶ月の事ではかゝる賛成は有り遂に困ると又多少の望を以て能率の騰るものはない。其を

考へて貰ひたい。

串畑豊氏

先づ何としても自分等は部下を見るに實際忍びない状態である。何とかして開門を

希ふより外の手改はない。

笹子氏

開門を差支へない様にして欲しい。今迄の稼下は駄目だ。

串畑豊氏

今の高名率は出来ません。昨夜頼、左方法より。

二、三ヶ月能率が高まつたら昇給はして戴けませんか。何にしても多少の條件を附して貰ひたい。仮り昇給するとしても二割かそれ以下一割でも昇給するもの。吾々は此